



# なきごえ



1988

6

大 阪 市  
天王寺動物園協会



# 動物と私

藤下 英也



もう30数年も前のこと、そのころ私は池や湖にすむ淡水プランクトンの生態調査にとりくんでいました。昼間はプランクトン採集用のネットを片手に、もう一方の手にはph測定器、肩には採水用の一升びんを入れたリュックを背負って、府下に散在するため池をひとつひとつたずね歩きました。夜は研究室で池の水の化学分析と、顕微鏡でプランクトンの種類を同定しスケッチすることです。感潮水域から採集した資料の中には海産種も混じり、なかでも顕微鏡下で解剖してみなければ種の検索が難しいケンミジンコ類の同定には、まったく顎を出す始末でした。しかし、0.2mm前後のワムシの採餌のための動きや、ミジンコの透けて見える心臓の搏動のようすなど、ちっちゃな生命の営みに感動を覚えたのは顕微鏡下ならではのことでしょう。炎暑のさなか、地図上にある池を探して日陰のないあぜ道を歩きつづけたり、吹きすさぶ寒風に耐えながら、水辺にへたり込んで24時間観測を続けるなど、プランクトンとのつき合いは20数年に及びました。現在の私と自然との関わりの素地は、このような体験のなかで培われてきたものと思います。

教職について担当したのが理科第2分野生物領域。私は子どもたちと学校近くの原っぱに出かけて、なるべく野外で学習するように努めました。そんなある時、「先生、ヘビっ！」と男の子が私の目の前に差し出したのは、どこでどう捕えたのか、まぎれもない大きなシマヘビだったのです。まさか…のでき

ごとはどう対応してよいのやら…ここで恐れおのいては教師としてさまになりません。「おお、ヘビか。まだ…冬眠からさめたとこみたいやから、そつと逃がしたりや！」こんなことがあってから、何故か私は知らず知らずヘビに接近するようになりました。そして、勤務校のある箕面の山野を歩いているうちに、シマヘビやジムグリ、マムシなど8種類のヘビ類がこの地域に生息していることがわかりました。それと併行してトカゲ、ヤモリ、カメなど爬虫類から、カエル、イモリ、サンショウウオなど、両生類へと関心の対象は広がっていったのです。そんなころ、スケールを測定中のヤマカガシに右手指を咬まれました。直後、激しい頭痛、意識不明、そして数時間後には歯ぐきからの出血、検査のため採血された耳たぶの針穴からの出血が止まらず、注射あとと広範囲にわたる皮下出血、血尿等の症状があらわれ、入院治療、毎日200mlの輸血を続けて全身の血液交換をし、3ヶ月後にやっと退院しました。かつては無毒のヘビとしてあつかわれてきたヤマカガシに咬まれ、重態におちいつたり、死亡した例を近ごろ聞くにつけ、なんとか一命をとりとめた私は幸運だったと思います。その後、性懲りもなく天王寺動物園でインドニシキヘビの脱皮殻の計測をさせてもらったり、大台ヶ原でナガレヒキガエルの調査をしたり、ヘビやカエルとの縁は切れそうにもありません。

そして今、ニホンジカやツキノワグマの糞や足跡、食痕などフィールド・サインをたずねて、近郊の山々を歩いています。

顕微鏡の視野に生きる微細なワムシやミジンコから、カエル、ヘビ、そしてシカ、クマへと、さまざまに遊び、危険、感動、いろんな体験をしながら私と動物のふれ合いは、まだまだ広がっていきそうです。

(大阪府自然環境保全指導員)

=====  
 なぎごえ6月号もくじ  
 動物と私 ..... 2  
 “ワライカワセミの人工育雛” ..... 3  
 動物園日記・動物園グラフ ..... 4・5  
 新しいネコ科動物舎「ヒョウ舎」の完成 ..... 6・7  
 東南アジアの動物園を旅して ..... 8・9  
 獣医室から ④⑥ ..... 10  
 動物園ニュース ..... 11  
 =====

\*\*\*\*\*  
 \* 表紙の写真説明 \*  
 \* “ハイロコクジャク” \*  
 \* (Polyplectron bicaratum) \*  
 \* 東南アジアに住む小形のキジです。春の繁殖 \*  
 \* シーズンになるとクジャク程の派手さはありま \*  
 \* せんが、尾羽や翼をひろげメスにアピールしま \*  
 \* す。地味ですが、味わいのある色合いです。 \*  
 \* (撮影：長瀬 健二郎) \*  
 \*\*\*\*\*



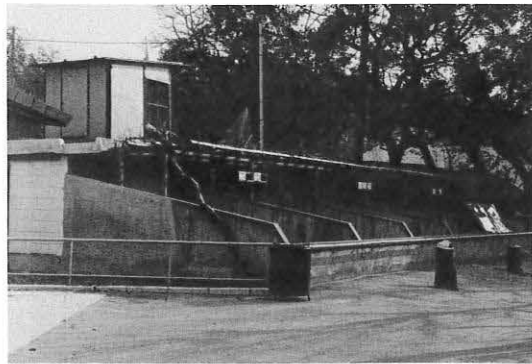
=====  
 “ワライカワセミの人工育雛”  
 4月6日と8日に孵卵器で孵化したワライカワセミのヒナは順調に育っています。親より少ししわがれた声でケラケラケラと笑い出すのも、もうすぐのことでしょう。  
 (撮影：新出 悦央)  
 =====

# 動物園グラフ

## 日本で初めて完成した本格的な 屋外型ガラス張り猛獣舎

昨年12月から工事をはじめたヒョウ、ジャガー等の猛獣舎が4月30日に完成しました。これでジャコウネコ科、ネコ科、イヌ科など食肉用が一堂に会し、系統分類学的展示配列が一層わかりやすくなりました。

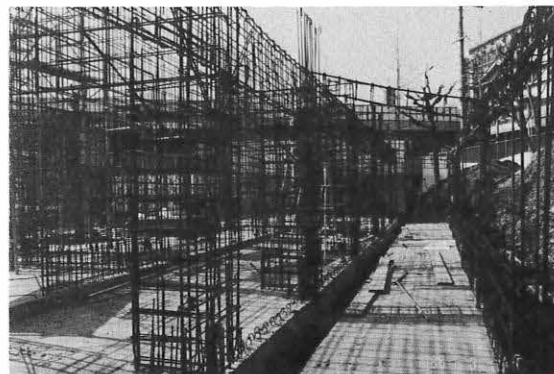
(撮影：中川 哲 男)



62年11月、  
建替前の小獣舎…ここにヒョウ舎を建設します。



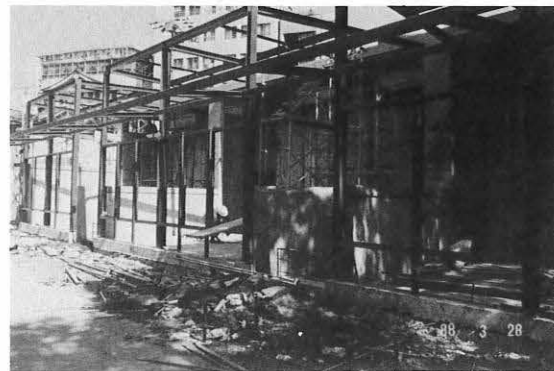
ヒョウ舎の建設にあたってはプロジェクトチームを組み  
皆んなで英知を出しあいました。



壁、梁の配筋が進んでいます。



旧小獣舎の解体がはじまりました。いよいよヒョウ舎の建設です。

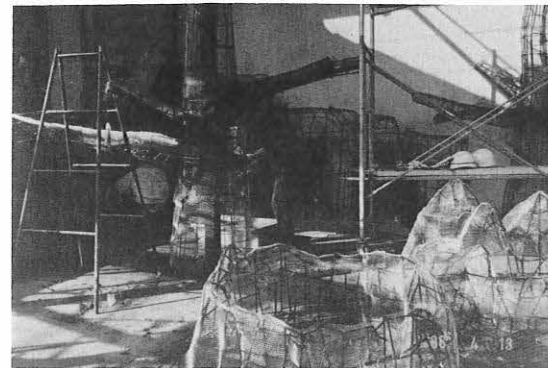


鉄骨が立上りました。

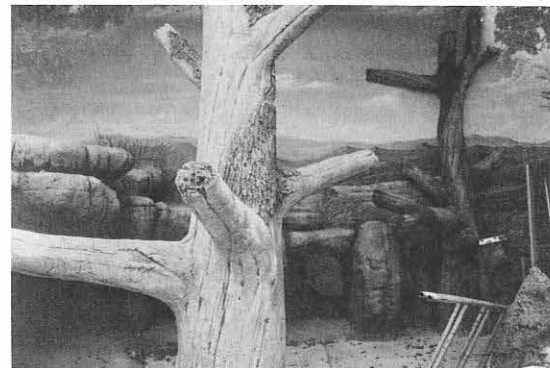
### 3・4月の動物園日記

- 3 / 26. パーバリープが1頭生まれました。
- 3 / 27. 3月19日に生まれたシシオザルの子の性別がオスとわかりました。
- 3 / 29. フクロギツネの個体識別のため、5頭の左耳に入墨をしました。  
昨年3月29日生まれのカリフォルニアアシカのオスの子を母親より離し、解凍した冷凍アジを食べるように餌付けを始めました。クロネズミヘビが産卵しました。
- 3 / 30. ダマシカのメスは裂創のため縫合していましたが、麻酔をして抜糸しました。

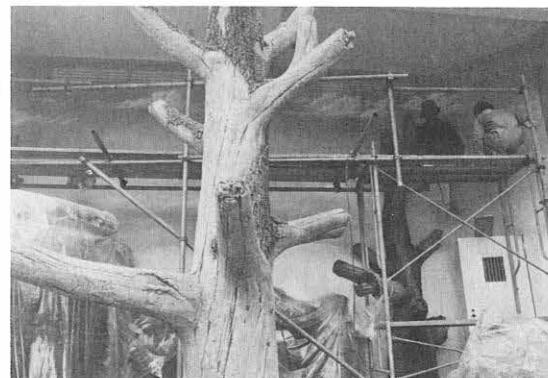
- 3 / 31. 保護により元気になったゴイサギ、トビ、セグロカモメを放鳥しました。
- 4 / 1. 獣医学科在学学生の春の病院実習が始まりました。
- 4 / 3. フクロギツネのミホの子供がはじめて袋の外に出ました。この子供は今年1月23日には、5cmほどしかありませんでした。
- 4 / 4. フライカワセミの人工育雛にとりくむことになりました。
- 4 / 6. フクロギツネのオス“ツバサ”と“ヨウコ”が交尾しました。
- 4 / 7. カリフォルニアアシカ“徹雄”の体重測定と、アジを自分から進んで食べないため、



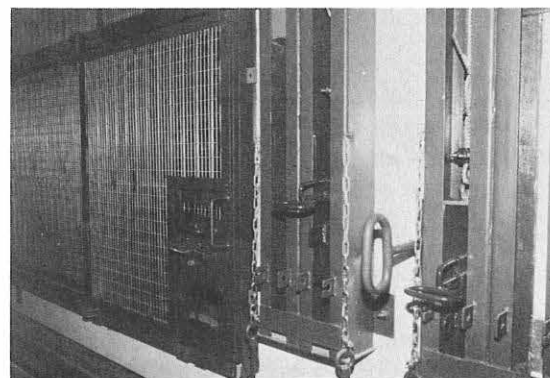
擬岩、擬木の製作に入りました。



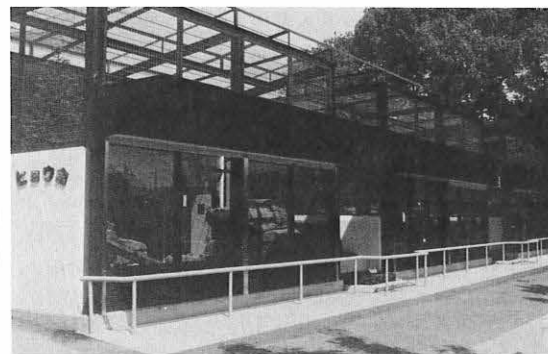
完成した擬岩、擬木。  
ここにはヒョウが展示されます。



背景の壁画製作中。



安全対策に工夫のみられるシャッターと餌の投入口。



63年5月、完成したヒョウ舎の全景  
総費用は6,440万円

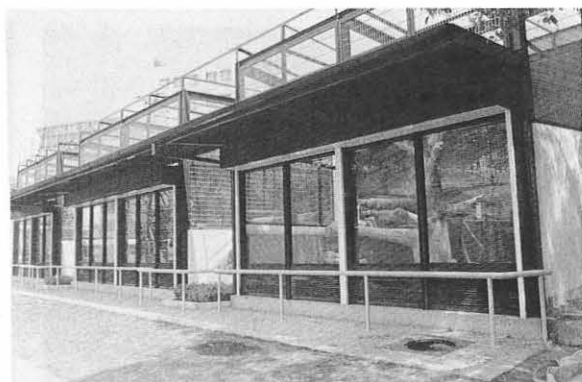
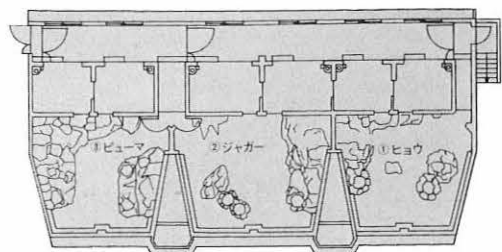


ヒョウ舎の裏側、風通しの良いようにガラリ、換気扇が  
設けられています。

- 強制給餌を行いました。
- 4 / 8. フライカワセミが1羽ふ化しました。  
クロネズミヘビが交尾し、アカダイショウが産卵しました。
- 4 / 10. ホッキョクグマの飼育会議を行ないました。
- 4 / 12. ホッキョクグマの子供が、プールの中に落ちましたが、浅瀬の部分であったため、自力ではい上がりました。
- 4 / 13. サイ舎の暖房を切りました。  
保護のタヌキが骨折しているため、レントゲン検査を実施しました。
- 4 / 16. タイリクモモンガが交尾しました。
- 4 / 17. 第36回動物のお話とスライドの会“カバの

- 話”を開催しました。
- 4 / 18. オシドリが産卵しました。
- 4 / 19. シュバシコウがバードケージ“鳥の楽園”で、ぞくぞくと抱卵をはじめています。
- 4 / 22. ダマシカのオスの角が落ちました。
- 4 / 24. 春の動物園まつりが開幕しました。  
アジアゾウのヒロ子が堀に落ちましたが、ほとんどケガもなく、約30分後に運動場に戻りました。
- 4 / 25. 動物交換でアシカのオス(6歳)を1頭、小樽水族館に送りました。
- 4 / 27. フサオマキザルが1頭生まれました。





完成した新ヒョウ舎

「猛獣がこんなにまぢかに！」「日本初のガラス張りヒョウ舎、ガラス越しに猛獣が見える」「ガラスの向こうは大パノラマ」などというキャッチフレーズを謳い文句に、新しいヒョウ舎が4月30日完成し、5月14日から一般公開されることになりました。建築面積216㎡のこのヒョウ舎は3つに区切られ、ヒョウ、ジャガー、ピューマの3種の中形ネコ類が収容されています。昨年3月に完成したヤマネコ舎と、以前からあるトラ、ライオン放飼場の中間にこのヒョウ舎は位置しており、これで一連のネコ科動物舎の完成となったわけです。これは天王寺動物園がこれからの構想として目ざしている系統分類学的な展示の一つともいえるものです。

さてこの新しいヒョウ舎は、昨年完成したヤマネコ舎同様、ガラス越しに動物を見せる新しい展示形式をとっており、従来の金網や鉄格子といった暗い檻のイメージを払拭し、明るく、しかも間近で動物が見られる点で、これからの動物舎作りのモデルになるものと考えられます。ガラスというと安全性の点が問題になりますが、このヒョウ舎は10mmの強化ガラスを2枚はりあわせており、地震や石をぶつけた位では割れることはありません。更に二重の安全構造として、ガラスが万が一破損されるようなことがあった場合に備えて、ガラスの前面にすぐ下ろすことのできるシャッターを設けてあります。

この新しいヒョウ舎にはもう1つの見どころがあります。それは巧みに作られた擬岩、擬木（本物に

似せて作った岩とか木）を配するとともに、それぞれの生息地をイメージさせる風景を壁面に描き、生息地にあった植物を植えこんで、あたかもそれぞれの動物が野生の生息環境下にいるかのように展示していることです。このような新しい展示形式は北アメリカの動物園でとり入れられ始めた「生態展示」と呼ばれる新しい手法を参考にしたもので、まさしくガラスの内側は大パノラマといった感です。

このように新しい構造、機能を数多くとり入れた動物舎は、天王寺動物園の職員で構成したプロジェクトチームによるアイデア捻出、創意工夫、調査、議論百出の成果ともいえるもので、今回完成したヒョウ舎は天王寺動物園が日本でも、いや世界にも誇りうる動物舎だと思えます。

天王寺動物園73年の歴史をふり返ってみますと、ヒョウの収容施設は実はこれが4代目になります。過去の収容施設がどんなものだったか、少しご紹介しておきましょう。

### § 戦前の猛獣舎

大正3年6月に大阪市が天王寺公園の現在の地に動物園の設置を決めた時、その新設動物園の動物舎配置案には当初トラの隣にヒョウの収容施設が記されていました。これは現在の小鳥舎付近と考えられますが、6ヵ月後の開園の時には配置案はかなり修正され、現在のカバ舎あたりに猛獣舎という名称の動物舎が建てられました。大正7年の園内案内図にはこの猛獣舎が4つに区分され、ヘウ、トラ、シシ、



昭和10年頃の案内図 ⑫が猛獣舎 ⑳が新猛獣舎

シシと記された文字が見られます。ヘウはヒョウのことで、シシはもちろんライオンをさしています。写真によれば人止柵を介していかめしい鉄格子で囲まれた動物舎がうかがえ、上部には日よけ用のフジ棚も見えます。一見すると今までのヒョウ舎に似た感じさえします。この猛獣舎にヒョウが収容されてい

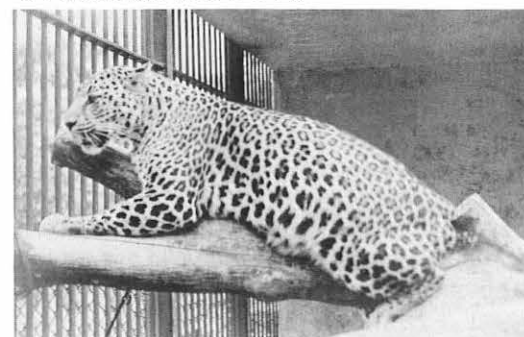


昭和初期の猛獣舎風景

たのは20年位だったようで、昭和10年頃には新猛獣舎と呼ばれる新しい施設が完成し、ヒョウはこちらの方に移されました。この動物舎はいわゆる檻というイメージが強いものだったようで、それまでの猛獣舎が多少なりともモルタル仕上げの擬岩が設けられていたのに比べ、爪とぎ用の木以外は全く何もない状態だったようです。ただ、夜間収容する寝室側には中をのぞけるような丸窓がついていて、ヒョウが餌を食べるところを見られるようになっていました。当時としては斬新な入園者サービスだったことでしょう。

### § 戦後のヒョウ舎

戦時中にライオンやトラ、ヒョウ、ピューマなどの猛獣類が処分されたため、戦後まもなくは猛獣舎、新猛獣舎とも猛獣舎とは名ばかりで、ニワトリやブタが収容されて家畜、家禽舎というありさまでした。さらに軍需物資としての鉄材供出で、人止柵や動物舎の金属類がかなり取り払われ、猛獣舎は見すばらしい状態が続いたようです。

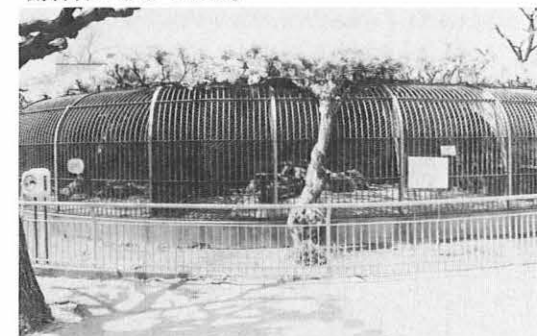


昭和35年頃の新猛獣舎のヒョウ

昭和26年10月、8年ぶりにライオン、トラ、ヒョウがお目見えしました。園内に再び猛獣のうなり声が甦ったわけで、それにともなって猛獣舎、新猛獣舎とも多少の改修がされました。しかし建築後かなりの年月を経た建物だけに老朽化は共に著しく、昭

和35年より始まった動物園改造9ヵ年計画にあわせて、建替えが決定しました。

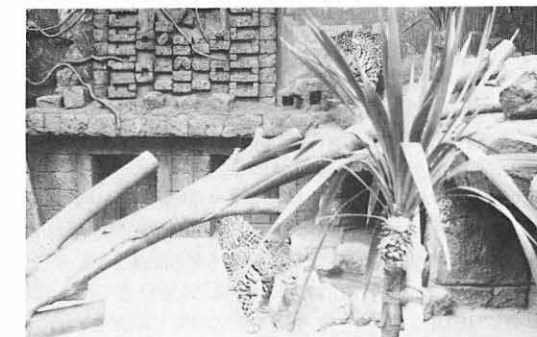
猛獣舎は鉄格子、金網をとり払って無柵放飼式と呼ばれる新しい展示形式のライオン、トラ放飼場に、新猛獣舎はヒョウ舎に、それぞれ昭和38年建て替えられました。新猛獣舎が2つに区切られヒョウとクロヒョウを収容していたのに比べ、ヒョウ舎は3つに区切られてピューマも収容されることになりました。擬岩や池などが設けられましたが、鉄格子と金網張りは旧態依然のままで、ライオン、トラが檻を取り払って実に見やすくなったのに比べ、見づらい動物舎のままでした。



今までのヒョウ舎

### § 新しいヒョウ舎へ

9ヵ年計画で作られた動物舎の老朽化が目立ちだしたのに伴い、昭和53年より小鳥舎を手始めに動物舎の建て替えが始まりました。猛きん舎、キジ舎、夜行性動物舎、サル舎と続き、昨年はヤマネコ舎（小形ネコ舎）とバードケージが完成しました。そしてこのヤマネコ舎に隣接して新ヒョウ舎が完成したわけです。ヤマネコ舎、ヒョウ舎、トラ・ライオン放飼場と続くこのネコ科展示ゾーンには10種のネコ科動物が収容され、分類学的展示に新たな生態展示という手法も加え、動物園の存在価値を高める意味でも大いに注目されることでしょう。



新ヒョウ舎のジャガー展示室

さあ、ガラス越しに見るパノラマを楽しんでみませんか。ヒョウ舎の前に立てば、もうそこは野生の王国です。

(飼育課：宮下 実)

# 東南アジアの動物園を旅して

なきごえ24(6) 1988

## § はじめに

昨年の12月5日、初冬の日本を立ち平均気温30℃前後の暖い南の楽園、シンガポール、マレーシアの動物園を6日間の日程で、原田、西川、小谷係員と私の4人で訪ねてきました。

## § マレーシア

日本から約6時間で、シンガポールに到着し、そこで乗り換えて、約1時間半でマレーシアの首都クアラルンプールに着きました。

空港から1歩外に出ると南国特有の蒸し暑さに見舞われ、汗が噴き出す中、現地の通訳兼ガイドの人が私達を出迎えてくれました。その日は翌日からのハードスケジュールのため早々とベッドの中にもぐりこみました。

翌日はスカッと晴れたマレーシア晴れ(?)で市内観光に出ました。さすがに多民族がより集っているだけあって、高層ビルの立ち並ぶ間に色々な回教寺院が目に入り、その形、色の鮮やかさに目をみはるばかりです。

車で市外に出ると、ゴムの木がうっそうとおいしげっています。マレーシアは国の約半はまだジャングルという状態で、ガイドの話によると、市内を少し出て林の中に入ると、ニシキヘビが出るということです。車を降りてジャングル探検に行ってみようという心境にかられました。マレーシアは天然ゴムと錫が主力産業で、あちこちの山は切り崩されていたり、一見無造作に植えられているようなゴムの木も、ちゃんと手入れされ、数kmも続いています。市内に戻って昼食をとった後、国立博物館に立ち寄りしました。この博物館はネコの博物館としても有名で、世界各地のネコの置き物、写真、飾りが展示されています。その中で、一時期、日本でブームになったなめネコの写真が片隅に飾られていました。

博物館の正面入口にはマレー人の生活、習慣などを描いたモザイクが飾られ、館内にはマレーシア全土の芸能、文化、生物、産業といったありとあらゆる物が紹介されています。この国に住む人々の情熱、力が感じられる場所でした。

## § マレーシア動物園

市内から30～40分離れた山の中にマレーシア唯一の動物園があります。園内は世界各国同じで家族連れが多く、大変賑わっていました。

動物はやはり南国だけあってサル類の数が多くシルバートンのケージでは仔ザルが母親から落ちてケガをしないように、地面から約50cmぐらいのところネットを張る心づかいがしてありました。又、鳥類の種類も多く、色の鮮やかな鳥、名前もわからずまだ見たことのない鳥が、あちこちに無造作に展示してあり、園内の池にはどこから飛んでくるのか水鳥が、羽を休める姿が見られました。

又、現地でも野生のマレーグマが少なくなっているせいか、10数頭のマレーグマを4ヶ所の獣舎で飼育していました。この動物園では世界の珍しい動物



オランウータンと並んで (シンガポール動物園)

を集めて展示するよりも、現地の動物を大切にしている様に見受けられました。そして動物舎も自然な感じを取り入れた物が多く、お客さんの方が動物を探して歩くといった感じです。

## § シンガポール

シンガポールは日本の淡路島位の広さで、マレー系、ヨーロッパ系、インド系といった様に多民族が寄り集った国です。町並みは大変美しく、ゴミを道などに捨てると罰金500シンガポールドルを取られます。大通りには並木が植えられ、公園なども緑を大切に、これが都会の中心なのかと思わせてくれます。

## § ワニ園 バンクリーフ水族館

空港を降りたち、車で約15分ぐらいの所にワニ園があります。ワニ園といっても規模は小さく、約200匹位のワニを飼育しています。プールの中央に道がついていて、その両側に海辺のワニ、川のワニという様に展示され、その横にはワニの剥製の展示を行っています。

バンクリーフ水族館はフォート・カニング公園の隣にあり注意していないと、通りこしてしまいそうな場所に建っています。鉄筋2階建ての建物で、その2階部分が水族館として利用されています。種類数はあまり多くないのですが、南国特有の熱帯魚の種類、数は多く、驚きました。市内から近いせいもあってか、どこかのジュニアスクールの生徒で館内は一杯で、施設面では、狭い割にはかなり見易く作られていました。

## § ジュロン・バード・パーク

ジュロン・バード・パークは市内から約40分ぐらいの場所にあり、山をうまく利用してつくられている公園です。面積は約20haの野鳥公園で、起伏に富んだ園内には森、溪流、滝、吊り橋などがあり鳥達が自由に飛び交っています。中でも、バード・ケージは一つの山全体を網でスッポリと包みこんでいて、高さ10数mの吊り橋から、下で泳いでいる鳥達を観察したり、飛んでいる鳥を間近に見ることのできる様に作られています。下に降りていくと人工的に作られた滝でできている池には水鳥や10数羽のクロトキが5～6mの近さで見られました。一つの山を利用してあるだけあって、林とか草で鳥がどこに

なきごえ24(6) 1988

いるのかわからないぐらいで、歩いていると足元から鳥が飛び立ったり、すぐ横に止っているのに気付かずに通り過ぎてしまいそうな所です。

あいにくこの日は雨で、このバード・パークのよびものの、放し飼いの鳥を口笛で呼んでエサを与え



フウチョウ (ジュロン・バード・パーク)

るというショーは見られず、園内を歩きながらのバードウォッチングも園内を走るトラム・カーという乗り物で見て回るぐらいしかできませんでした。雨が小降りになったのを幸いに園内を歩いてみると、サイチョウの種類、数の多さにビックリしました。そしてあるケージの前でなんと美しい鳥がいるもんだなあと思い説明板を読んで初めてフウチョウであることを知りました。

頭の上と尾羽の一部は黄金色で全体は褐色、はばたくと真白な羽根がふわっと広がり、針金状の飾り羽がついていて、大変美しい鳥です。

バード・パーク入口付近には夜行性動物舎があり、中はほとんど真暗に近い状態で、目を馴さないとい、どこにどんな鳥がいるかわからない所でした。しかし、目をこらしじっと見つめると、キーウィ、シロフクロウをみつけることができました。

ここでは、約350種、7000羽以上の鳥がケージや放し飼いで、飼育されており、一度は行ってみる価値のある所です。

## § シンガポール動物園

この旅の最後の目的地のシンガポール動物園は市内から約1時間、セレーター貯水池のほとりにある敷地28haの広い動物園で、動物保護区の指定地域で自然をうまく利用しています。シンガポール動物園では日本人スタッフの大森房子さんの案内で園内を見学させていただきました。初めに園内の説明をうけてからシンガポール動物園名物、オランウータンとの朝食に案内してくれました。アーミンという名の8～9才のメスのオランウータンが入園客と一緒に朝食を食べ、その後記念撮影をとってくれます。朝食の最中、園長さんの挨拶を受け、園長さんと大森さんのはからいで、動物園で働くスタッフとの昼食を取りながらの交流会に招いていただきました。その会でドイツから来ていた調教師の方から動物の調教のしかた、接し方などの話をしてもらい、こちらからも質問などして、30分ぐらいでしたが意義ある交

流会でした。

この動物園の最大の特長はショーの要素を取り入れられていることです。園内にショーのための会場がつけられていて、そこではオランウータン、チンパンジー、ヘビ、アシカ、ゾウのショーが午前と午後の2回に分けて行われています。どの動物もよく調教されていて、ゾウなどは4頭が連れ出されて、園内を歩いていました。又、色々な動物舎の前では飼育係員が自らエサを与えながら、お客さんに動物の説明、エサの話などをしていました。クモザルの島に入っていったり、オオカミに素手でエサを与えたり、ホッキョクグマなどは、プールの上にはぶらさげられた鐘をならすと肉をもらえるといったふうに、各動物舎でお客さんに対してサービスを行っていました。



クモザルの島に入ったキーパー (シンガポール動物園)

園内を見学しているとマレーグマ舎の前で何かやっていた。私もクマを担当していますから興味を覚え、大森さんに通訳をお願いしました。話を聞いてみると棒の先にロープでボールをつりさげ、そのボールをたく芸を教えていると言う事です。そして、私の飼育の仕方、彼らの動物の接し方、動物に芸を教えるプライドなどを短い時間でしたが話し合うことができました。

一日中歩き回っても見飽きないといった感じで、大森さんにお礼をいながら、動物園を後にしました。

## § おわりに

とかく日本では外国の動物、珍獣を集める傾向に走っていて、どこの動物園でも競って収集しているように感じられます。しかし私達が訪れた動物園では、その国の動物を本当に大切にしています。これは動物園で働く人だけではなくその国の人々も同じだと思います。もっと私達も身近にいる動物達にも目を向け、大切にしなければならぬと感じ、この旅行記を終ります。

(飼育課：土谷正道)



動物を治療する上で一番困るのは、動物たちがじつと静かにしてくれないことです。そこで、治療できるよう、動かないようにしてもらわなければなりません。タヌキ位までの小さな動物ですと、玉網などを用いて捕獲した上で、治療できないこともありませんが、時間のかかる手術などは、かなりの痛みを伴うため、どうしても麻酔をしなければなりません。ですから麻酔は全身麻酔となるのが普通です。たいてい、筋肉内に麻酔薬を注入して麻酔をかけますが、麻酔がきめてきた場合には、同じ薬を追加注射したり、吸入麻酔(麻酔ガスを吸いこませて行う麻酔)に切り換えたりします。本当は最初から吸入麻酔をした方がより安全なのですが、動物園では小鳥、小動物の一部のもの、それに注射麻酔後の継続麻酔にしか使えないのが現状です。

それでは、実際の麻酔のやり方について説明することにしましょう。

§ 麻酔の実際

タヌキやキツネくらいの大きさの動物では、玉網という長い柄の付いた網で捕獲後、麻酔薬を筋肉内注射します。麻酔薬は犬や猫にもよく使用されているケタラルールやセラクタールという麻酔薬で、ケタラルールだけで麻酔することもありますし、両方を混合して用いる場合もあります。ライオンなど大きな動物については、使用量がぐっと少なくなるよう混合して用いる方法で麻酔するのが普通です。小動物については、薬量が少ないためケタラルールのみで麻酔することが多いのですが、ケタラルールでは20~30分ほどできめてしまいますから、効果を長びかせるためにセラクタールを加えたりもします。

ライオン・トラ・クマ・バーバリシープなど大型獣になりますと、ピストル型やライフル型の麻酔銃によって麻酔薬を筋肉内に注射する場合があります。



左下:吸入麻酔で断脚術をうけたリュウキュウイノシシ。右下:麻酔薬とその拮抗薬

時に麻酔用の吹矢を用いても行ないます。注射部位は主におしりや大腿などの筋肉の厚い部位にするようにします。というのは、この部分では注射筒が動物にあたったときの衝撃を柔げてくれるからで、筋肉の薄いところでは骨折することがあるからです。

§ 麻酔量の決定

麻酔薬の量は、いままでのデータをもとに決定された各種の動物についての体重1kg当りの使用量にその動物の体重をかけて算出します。その体重ですが、ほとんどが目測と、いままでのデータをもとに割り出しているものですから、まれに量が多すぎてきめにくかったり、量が適正であっても、よくきいてしまうというケースが生まれてきます。こんなときのために麻酔状態からの回復を速める拮抗薬があります。

§ 麻酔拮抗薬(麻酔の回復をはやめる薬)

4アミノピリジン、ヨヒンビン、トラゾリンなどは、ここ数年注目を浴びている拮抗薬で、当園でも3年前から応用しはじめ、最近ではセラクタールを用いて麻酔したときは、たいていトラゾリンを注射しています。この薬は、麻酔から早くきめるだけでなく、麻酔薬による副作用、つまり、脈や呼吸が遅くなったり不規則になったりすること、胃腸にガスがたまったり、吐いたりするのを防ぐ作用をもっています。

§ あの手この手

類人猿であるチンパンジーやオランウータンは、注射されるということに気付くと、逃げまわって注射させてくれないのが常です。こんなときの頼みの綱が飲ませて効く鎮静剤です。少し苦味があるため甘いジュースなどに混ぜて飲ませた後、意識がややもうろうとなったそのすきをねらって注射するのです。類人猿の麻酔はまさに知恵比べです。

(飼育課:森本委利)

第14回天王寺動物園サマースクールのお知らせ

夏休みの子供たちのために動物園で動物の観察や飼育係の仕事を見学し動物の勉強をします。対象は小学生(4・5・6年)のみです。次のつごうのよい組を1つえらんで下さい。

- 日時 第1組 7月23・24日
第2組 7月25・26日
第3組 7月28・29日
第4組 7月30・31日

参加資格:小学校4・5・6年生、保護者の同意があって動物園まで毎日通える者、定員は各組70名。

申し込み:6月30日までに、往復ハガキで往復ハガキに①サマースクール第〇組に参加希望、②住所・電

話番号、③氏名、年齢、性別、④学校名、学年、⑤保護者氏名を記入し、返信用ハガキのおもてに自分の住所・氏名を記入。ハガキは1通のみ記入。

申し込み先:〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 大阪市天王寺動物園

参加者決定:7月1日に抽選し、結果を連絡します。参加経費:1人1,400円(テキスト・参加章・写真・修了証などの費用)

その他:保護者の参加はできません。送迎だけにして下さい。もし本人が参加できなくなったときは、連絡して下さい。

動物園ニュース

§ ワライカワセミの人工育雛

4月6日と8日にワライカワセミが人工孵化し元気に育っています。

昨年、一昨年と自然繁殖に成功しているワライカワセミですが、本年度は雛の成長過程を記録するためと数多くの雛を育てるため人工育雛することにしました。3月12、13、15日と産卵した卵を親鳥に抱かせ、孵化直前の4月5日に卵を取り上げ孵卵器に移しました。1卵は無精卵でしたが、残る2卵は無事に孵化しました。

最初、ハツカネズミの生後まもない子供を餌として与えました。雛の成長は非常に早く、孵化時20g前後だった体重は4~5日目に倍になり、半月後には10倍の200gを越えるまでに成長し、餌もハツカネズミとドジョウを合わせて1日80gぐらい食べています。親が育てた場合、約1か月で巣立ちして5月中旬にはご覧いただけるでしょう。



§ ホッキョクグマの赤ちゃんの名前が決定

3月11日から4月20日までホッキョクグマの赤ちゃんのペットネームを募集しましたが、北は北海道、南は鹿児島まで1歳にも満たない赤ちゃんから84歳のお年寄りにいたるまで20654票のご応募をいただきました。4月25日にペットネーム審査会を開催しホッキョクグマの赤ちゃんの名前は「こゆき」に決定しました。母親の「ユキコ」、父親の「ユキオ」にちなんで「ユキ」のつくユキ、ユキエ、ユキミ、ミユキ、ユキノなどの名前が多くありました。5月5日に記念品の授与式を行い「こゆき」に投票くださいました1612人の方々のうち豊中市の中川綾さん(6歳)ははじめ3名の方にホッキョクグマの



現在の飼育動物数 (昭和63年4月30日現在)

Table with 4 columns: Animal Type, Months, Number of Species, and Total Count. Rows include Mammals (13 months, 104 species, 436 points), Birds (20 months, 200 species, 603 points), Insects (3 months, 35 species, 89 points), and a Total (36 months, 339 species, 1,128 points).

親子のぬいぐるみを、その他テレフォンカードを50名、当園特製のステッカーを20名の方々にお贈りしました。

§ 春の動物園まつり開催

恒例の「春の動物園まつり」が4月24日から5月5日までの休日6日間に開催されました。今回はホッキョクグマの誕生を記念して、ぬいぐるみのホッキョクグマとの記念撮影や北園展示館でのホッキョクグマの赤ちゃんの写真展を行いました。また、恒例の大阪動物園ボランティアーズの皆さんによる園内4か所におけるスポットガイドやステージにおける紙芝居や動物クイズを行いました。その他、レクチャールームで開かれた動物ビデオの会も好評でした。なお期間中に募集した動物写真コンクールの入選作品の展示会を6月5日から26日まで北園展示館で開催する予定です。



§ ヒョウ舎完成

1月14日から始まった新しいヒョウ舎の建設工事は急ピッチで進み5月9日に完成し、12日にヒョウ、ジャガー、ピューマの3種6頭を新居に移動させました。観客側にガラスを採用し背景に生息地に合わせた絵を描いたジオラマ展示を取り入れた大形のネコの仲間動物舎は日本では例がなく、たいへんすばらしいものです。5月14日に一般公開しましたが、迫力満点の動物舎はたいへん好評です。(グラフ参照)

◎お知らせ

動物のお話とスライドの会
6月19日(日) 動物渡来物語
時間:午後1時~2時
於:北園レクチャールーム

\* 休園日のお知らせ \*
動物園の休園日は毎月第3月曜日です。8月までの休園日は下記のとおりです。
6月20日(月)、7月18日(月)、8月15日(月)
開園時間は午前9時30分から午後5時までで、午後4時に切符売止めになります。

キップスは便利をかたちにしたカード。

近鉄グループカード  
〈キップス〉

会員募集中

**KIPS** IN **VISA**  
**JCB**

◎近鉄百貨店でのお買物が5%割引など、近鉄グループの特典いろいろ。

お問合せとお申込みは各店クレジットセンターへ

●アベノ店7階 ●上本町店11階 ●東大阪店本館 ●橿原店6階 ●奈良店4階 ●西京都店1階 ●東京店7階

◎近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



**生態・飼育・図鑑** 一つの本の  
中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光/監修  
B5変型判・オールカラー  
定価580円

動物園で暮らす様々な生き物達、自然の中ではどんな暮らしをしているのか？動物園での世話の仕方は？仲間とは？など、写真と精密イラストをまじえ紹介します。

くらしかいかたシリーズ<既刊本>

B5変型判・オールカラー・各定価580円

**むしくらしかいかた**

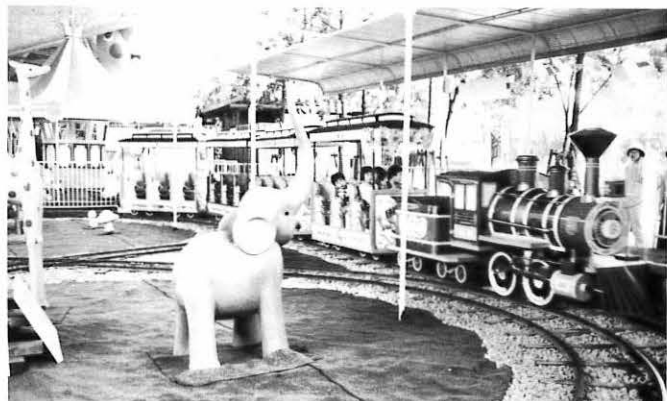
野山でみかける身近な昆虫たち  
250種を紹介。

**ちいさないきものくらしかいかた**

昆虫以外の小さな生き物を320種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 **☆ 光のくに株式会社** 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表

たのしいのりものが待っています。



1人1回  
100円  
(1才まで無料)

団体割引  
(30人以上)  
……1割引

久竹娛樂株式会社  
TEL (06) 541-3112

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

いま、フィルムは  
頭脳をもった。



高画質時代をリードする

はるかに美しく

**フジカラー SUPER HR**

カラの大林

桜橋本店 ☎341-8091  
三番街店 ☎372-5031

平岩米吉 著 日本狼の正史ついに完成

改訂六版

**狼 — その生態と歴史 —**

定価 2,800円  
A5判・本文320頁  
口絵・挿画等140図

☆犬科動物の研究者として知られる著者が数十年にわたり収集した正確な資料を、生態学の眼をもって描いた空前の書。日本狼は、大口の真神とあがめられた古代より、のちには病狼と恐れられ、やがて絶滅に至るまでの経緯を詳述。

主な目次

序章 狼への幻想と現実	第一章 犬科の分類と解説
第二章 犬と狼の関係 家犬の成立 犬と狼の相違点	第三章 日本狼の歴史 古代の狼害と狼の神格化
第四章 狼狩の記録 江戸時代の狼狩り	第五章 狼の伝説 間違いだらけの狼の姿態
第六章 日本狼の形態 日本における狼の研究	第七章 日本狼の絶滅 最後の日本狼
終章 狼を飼った人々 秩父宮殿下の狼。著者の飼った狼	

発行 動物文学会 〒152 東京都目黒区自由が丘3-12-2 電話(03)717-1659 振替東京5-9800 発売 (株)池田書店 〒162 東京都新宿区弁天町43番地 電話(03)267-6821 振替東京2-60072

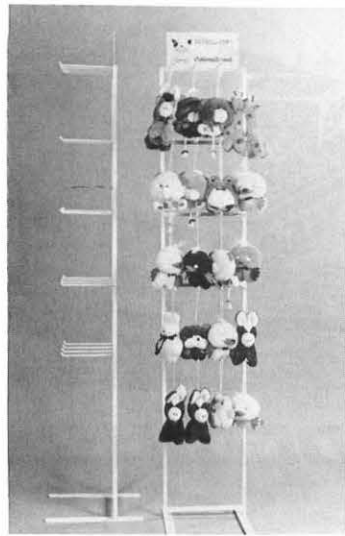
- 貸出品目/ビデオ「動物園へ行こう」  
①巻・20分(10本常備)
- 対象/保育園、幼稚園、小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し、郵送料450円は必要)
- 申込先/当協会まで、電話かハガキでお申し込み下さい。



大阪市天王寺動物園協会

〒543/大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201



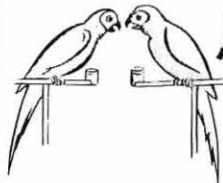


## 動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

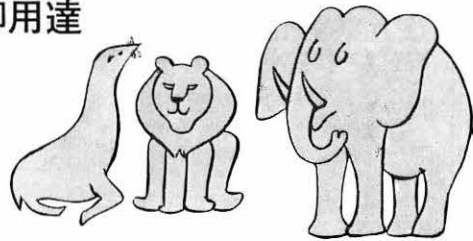
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号  
TEL: (06) 704-8580  
FAX: (06) 704-8565



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

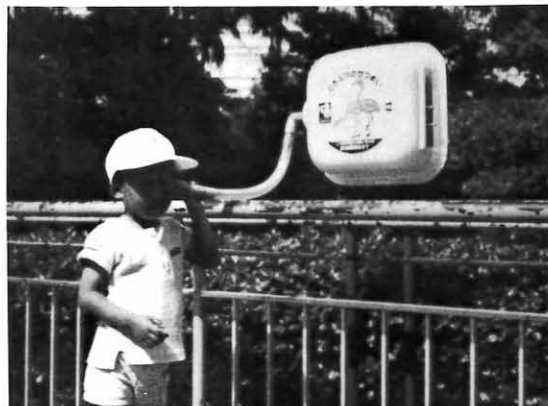
- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円



有限会社 **吉川商会**

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号 電話(078)221-8195(代)  
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

たのしい動物のお話は、  
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎  
30数カ所にあります

関西特機株式会社  
電話 06-762-2333  
1回 20円

## 動物園内での お食事、ご休憩は

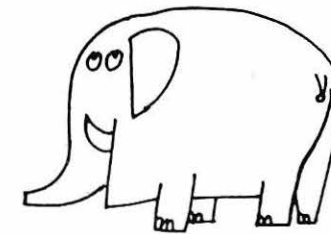
大阪市天王寺動物園内

# 中央売店

☎ (06) 771-0973



## 天王寺動物園内



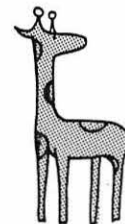
## 南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74  
電話 (06) 771-7110番

## 園内での写真は...

### 動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます。  
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

◎随時係員が待機して  
おりますのでご説明  
に伺いました際は、  
よろしくお願い致します。

国際航空写真株式会社  
TEL 06-856-7444



もっとおいしく もっと元気に!... 雪印



果肉とソフトヨーグルト  
の名コンビ



# 雪印ヨーグルト 130g・250g

おなじみの果肉入りヨーグルト

新鮮です、さわやかです。フルーツが入った、おしゃれなヨーグルト。

ホワイを基調にしたシンプルなデザインで、ヨーグルトのさわやかさにもピッタリです。

野生動物をみんなで守ろう

# WE SUPPORT WILDLIFE!

天王寺動物園協会の売店に“WWF国際保護動物ぬいぐるみコーナー”が新設されました。このぬいぐるみの売上げの一部はWWFJ(世界野生生物基金日本委員会)に寄付されます。すばらしい野生動物を私たちの手で大切に守りましょう。

ぬいぐるみ販売コーナー新設



お申込み、お問い合わせは——

社団法人 大阪市天王寺動物園協会  
(天王寺動物園内) TEL (06) 771-0201

株式会社 ファミリア 商事部  
TEL (078) 321-0345

●お電話でのお申込みは動物園協会まで。  
なお、郵送の場合は実費を負担していただきます。

●WWF(WORLD WILDLIFE FUND)とは?  
世界野生生物基金。世界中の危機に瀕している動物たちと、その自然環境を保護するための機関です。



なきごえ 昭和63年 6月10日発行 (毎月1回10日発行) 第24巻 第6号 (通巻274号)

編集 / 大阪市天王寺動物園

発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

1年継続(12部) 1,100円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 大阪 37823

編集委員

(土井良彦 / 伊東重朗 / 藤野勝吉 / 樽本 勲 / 中川哲男 / 齊田 尚 / 宮下 実 / 長瀬健二郎 / 榎原安昭)  
(森本委利 / 大野尊信 / 野口秀高 / 早川 篤 / 藪野幸司 / 堀 弘 / 大川光雄 / 新出悦央 / 土谷正道)